

【22_066/技術系メルマガ】『ブローカー選び』の基本

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

週末、スケーターさんの謎放送を聞いてくださった皆さんは既にご存じだと思いますが

先日、『ブローカー選び』をテーマに色々議論をしました。

僕は、リスクの分散、税制の観点から国内・海外のブローカーを分けて運用していますが

正直なところ、トレード界限でよく比較される「スプレッドの差」「諸々の特典(?)」という観点で

各ブローカーを比較しても、あまり優劣は無いと考えています。

それよりも、国内ブローカーを用いるメリット・デメリット

海外ブローカーを用いるメリット・デメリット という側面で

法規制・税制面から比較をして、自分の目的に沿った運用を行うべきなのですが

あまりその点をしっかり説明している人も多くないというのが、僕の印象です。

そこで、今日のメルマガでは

今朝行ったモーニングライブの内容も補足しつつ、僕が実際に運用している

『国内・海外ブローカーを併用する理由』に触れていきたいと思います。

▼(参考)今日のモーニングライブ▼

<https://youtu.be/gvOL4ifH5Po>



■ 国内・海外ブローカーの違いを理解し、活用すること



<国内口座の活用>

実運用ベースでの最低限の知識をベースに話をするので、細かい点は

各々でも確認してほしいところですが

基本的に、国内・海外ブローカーの決定的な違いは『信託保全の有無』です。

国内ブローカーは、金融庁の認可を受けて運営されているので

勿論国内の法規制に基づいて、「レバレッジの制限(個人口座なら25倍まで)」や

「完全信託保全(顧客資産の保護)」が義務付けられています。

そのため、レバレッジが掛けられない反面

口座に入れた資産は保全することを義務付けられていることから

『多額の運用資金を低レバレッジで運用する』用途として、国内口座を活用しています。

ちなみに「国内口座には“追証”があるので危ない」という指摘がありますが

少なくとも、僕が現状行っているリスク管理の中で運用する限り

元本割れする勢いで損失が出ることは、可能な限り低くなるように運用しているので

その点はデメリットとは認識していません。

<海外口座の活用>

一方の海外口座(主に、運用拠点が日本国外にあるブローカー)についてです。

これらのブローカーは、基本的に国内の金融法規制下での運営を義務付けられていないので

「完全信託保全」をされることはまずないと考えるべきです。

そういう意味では、『口座に入れた資産が返還されない(可能性がある)』ことを

覚悟のうえで運用を行う必要があると言えます。

その見返りとして、国内では規制されている基準以上のレバレッジを張った運用もできるわけなので

『業者としてのリスク』は明確に認識をしたうえで、どんな運用をするべきなのかを考えましょう。

僕の場合は、『必要最小限の金額』を海外口座に入金し

月ごとの利益分を口座から出金、さらにその出金分を国内口座に移して並行運用する

という形をとっています。

つまり、『元本は戻ってこない(可能性がある)』と認識したうえで

種銭を得るために海外口座で少々レバレッジを張った運用をし、国内口座では

潤沢にした資金を低レバレッジで運用する、という

国内・海外口座のそれぞれのメリットを活用したリスク管理・運用を行っているわけです。

□
■ 最後は『自分の情報収集力』がすべてである

どんな方法にも、「100%の安全・安心を保証してくれる」ものというのはありません。

これは、トレードという行為自体に様々な『リスク』が内在しているということでもあります。

手法にも「100%の安全」を求めることが出来ないのと同じように、自分に都合よく

「100%の安全」を求めようとするのも、無理がありますよね。

ですから、各ブローカーを活用する際には、その特徴とリスクをなるべく正確に

(自分でよく調べたうえで)把握し、『納得して』使うことが重要です。

そこまでやるのが、『トレーダーの仕事』と言えるのではないのでしょうか。

ちなみに、僕がフォローしている方で、海外ブローカーの実情に非常に精通している方がいますので

ブログサイトをご紹介します

▼ハイレバ戦士 まんぼう総裁 ブログ▼

<https://manbou-fx.com/>

※ご本人から、掲載許可を頂いています

僕も、海外口座を検討する際に参考にしていますので

一度目を通してもらうと良いかと思えます。

※くれぐれも「クロの所から来た」と言って、質問攻撃を浴びせたりしないようお願いします。(大丈夫と思えますが念のため)